- (1) 安倍首相は11月14日、(①国名) のアウン・サン・スー・チー国家顧問と(②国名) のマニラで会談しました。イスラム系少数民族ロヒンギャの(③) 問題について話し合いました。
- (2) 東南アジア諸国連合(①アルファベット) 10カ国と日中など8カ国による東アジアサミットが14日マニラで開かれました。核・ミサイルによる挑発を続ける(② 国名) を非難する方向で協議しました。
- (3) イランと(国名) の国境付近で11月12日に起きた地震は、死者の数が450人を超えました。
- (4) (①国名) のダナンで、(② 国名) を除く参加11カ国が大筋合意した(③) パートナーシップ協定(TPP) は、(④) の削減・撤廃だけでなく、知的財産の保護や外資規制緩和などのルールが盛り込まれており、東南アジアなどに進出するメーカーやサービス企業にとっては追い風となります。一方で農林水産業にとっては安い外国製品の輸入が増えるとして懸念も広がっています。
- (5) 日米中など21カ国・地域が参加するアジア太平洋経済協力会議(アルファベット) の首脳会議が10日、ダナンで開催されました。
- (6) アメリカの(①) 大統領と中国の(②) 国家主席の首脳会談で、(③ 国名) が核開発を放棄するまで経済的圧力を加える必要性で一致しました。しかし米国が「(④) 行使を選択肢に入れている」のに対し、中国は「(⑤) を通じた解決」を重視しており、双方の思惑は相違がみられました。

<解答>

- (1)①ミャンマー ②フィリピン ③難民
(2)①ASEAN ②北朝鮮
(3)イラク
(4)①ベトナム ②アメリカ ③環太平洋 ④関税
(5)APEC
(6)①トランプ ②習近平 ③北朝鮮 ④武力 ⑤対話

(7) 米韓首脳会談 (11/7) 韓国を訪問中のアメリカの (①) 大統領は 7 日、韓国の (②) 大統領と会談し、核・ミサイル開発を続ける (③ 国名) に対し、圧力を強化していくことで一致しました。トランプ大統領は、「(③) が核・ミサイル開発をやめるよう、(④ 国名) や (⑤ 国名) も含め、全ての関係国に求めていく」と述べたうえで、「全ての国は、(③) との貿易を中断しなければならない」と、圧力強化を強調しました。この後、開かれた晩さん会には、いわゆる元慰安婦の女性が招待されたほか、韓国が実効支配している (⑥) 県の (⑦ 島の名前) 周辺で取れた、「独島 (どころ) エビ」と称するエビを使った料理も提供されました。また、今回の米国大統領のアジア外交の訪問国は、(⑧) という順になります。

(8) COP23 が開幕 (11/6) 地球温暖化対策を話し合う COP23 が (① 国名) ・ボンで開幕しました。6 日始まった COP23 では、世界の気温上昇を産業革命前よりも (②) °C 以内に抑えることなどを目指す (③) 協定のルール作りが行われます。しかし、今年 6 月、トランプ大統領が (③) 協定はアメリカにとって不公平だとして離脱を表明。アメリカは協定のルール上、2020 年の 11 月まで離脱することはできず、条件次第では協定にとどまる意向も示しています。今回の会議では協定を実行に移せるかが注目されています。

(9) ユネスコの「世界の (①)」に「(②) 使」「上野三碑 (こうずけさんび)」などが新たに登録されました。(②) 使とは、主に江戸時代に朝鮮半島から派遣された外交使節団。

(10) 安倍晋三首相、(① 国名) のドゥテルテ大統領と会談し、(② 国名) の南シナ海への進出を念頭に、フィリピンの海上警備能力強化に向けた支援を表明しました。一方、経済面では今後 5 年間で地下鉄や防災設備など、総額 1 兆円規模のインフラ支援を実施することで合意し、共同声明を発表しました。また、会談では北朝鮮問題について、国連安保理の制裁決議を完全に実施することを確認しました。

(11) (①) にある一枚岩のエアーズロック (ウルル) への登山が先住民 (②) の要望により 2019 年 10 月から禁止されることとなりました

(12) () 政府がカタルーニャ州の自治権を停止することを決定しました。

(13) (①) 県と (②) 県の県境に位置する霧島連山・新燃岳が 6 年ぶりに噴火。

<解答>

(7) ① トランプ ② 文在寅 (ムン・ジェイン) ③ 北朝鮮 ④ 中国 ⑤ ロシア ⑥ 島根 ⑦ 竹島

⑧ 日本→韓国→中国→ベトナム→フィリピン

(8) ① ドイツ ② 2 ③ パリ

(9) ① 記憶 ② 朝鮮通信

(10) ① フィリピン ② 中国

(11) ① オーストラリア ② アボリジニ

(12) スペイン

(13) ① 鹿児島 ② 宮崎